

## 令和4年度 市長と語るまちづくり懇談会（中学生）会議録

日 時：令和4年12月27日（火）午後1時から午後2時30分まで

場 所：学び・交流プラザ

テーマ：中学生が描く未来の周南市

出席者：周南市立中学校の生徒13名（各校1名）

周南市長

シティネットワーク推進部（部長、市民の声を聞く課長）

### 1 懇談会の流れ

- (1) 開会
- (2) 懇談
- (3) 閉会

### 2 懇談の内容 ○：中学生 ●：市長

【普段の生活の中で解決したいことや希望すること】

- バスケットボールが騒音問題などにより、学校でしかできないので他の場所でもできるとよい。
- 市の体育館などの利用も考えてほしい。
- 学校のタブレットについて間違った使い方をしている人がいる。正しい使い方を呼びかけているが、学校からも生徒に正しい使い方をするよう伝えてほしい。
- タブレットについては、教育委員会からも正しい使い方を指導するよう学校に伝える。また、生徒の皆さんが使い方について悩んでいることを教育委員会から学校にきちんと伝え、早く解決するよう取り組んでいく。
- 教室だけでなく特別教室にもエアコンをつけてほしい。
- 校舎が古く床のきしみも気になる。体育館のライトが切れている箇所がある。
- エアコンは設置していく方針であるが、すぐに取付ができない技術的なことや、財政的な問題がある。少し時間がかかるが早急に取り組んでいきたいと思っている。
- 野球部で活動している。周南市には野球場がいくつかあるが雨で試合できないことがある。ドームの球場を造ってほしい。
- ドームの球場を造ってほしいという思いは将来の夢として受けとめる。
- 周南市は野犬が多く登下校で怖い思いをしているので、早く解決すればよいと思っている。
- 野良猫も多いのでどのように減らしていけばよいか考えている。
- イノシシもグラウンドや花壇等を荒らしている。
- 野犬については、市長就任以来、県と協力し捕獲すること、譲渡することに取り組んでいる。最近では少なくなっているがまだいる。捨てないこと、餌をやらないことが重要である。皆さんも通報アプリなどを活用してぜひ協力してほしい。猫についても考えていかなければいけないと思っている。イノシシについても担当に伝える。
- 男女差別についての記事を目にするが、男女の体格差により生じる区別や配慮も差別と言われることがある。区別することも差別と言われることがない世の中になってほしい。

- 男女共同参画の社会になるよう取組を進めている。社会は全ての区別を差別としていることはないので、皆が自分らしさを見つけて生きることができるようになればよいと思う。
- 近くにスーパーがなくなっているのでお店があったらよい。
- 買い物は中山間地域でも問題になっている。買い物難民と言われる人の生活を守っていくことも市長の仕事なのでしっかり取り組んでいく。
- コロナ禍で減少した地域交流を活発にしていけることができればよいと思う。(小学校との連携や、地域と一緒にイベントの開催)
- 地域の皆さんの尽力もあるが、交流などはコロナ禍で少なくなってきているかもしれない。周南公立大学と小中学校の連携も進めていきたいと思っているので、アイデアがあれば教えてほしい。
- 外で勉強する時に図書館では席数が限られているので、他にも気軽に集中して勉強できる場所があるとよい。例えば、市民センターを開放してほしい。
- 市民センターは、地域の皆さんが利用できるがいつでも自由に利用できる状況にない。今後考えてみたい。
- 温かくおいしい給食を楽しみにしている。家でも給食の料理を作ってみたいと思う。レシピを公開することは可能か。
- 給食等に関するお便りを出している学校もある。その中に献立のレシピを掲載している場合もある。レシピを知りたい献立があれば先生に相談してほしい。学校給食課や給食センターが紹介することができると思う。おいしい給食が届くようにしたい。
- 海のゴミを減らしたいと思っている。
- 海のゴミは地球上を回っている。プラスチック製品を海に捨てないようにすることが一番である。私は、20年近く海浜清掃を行ってきたが、海の環境について認識し啓発をしっかり行っていきたい。
- 地域の交通安全に取り組んでほしい。雨の日は横断歩道の線が消えかかっている箇所はよく見えず危ないと親から聞いた。
- 地域の祭りで渋滞が発生することがあるので、安全のため道を広くしてほしい。
- 市では、今年度から通学路の安全について点検し、予算をつけて集中的に取り組んでいる。道路の危ない箇所があれば教えてほしい。横断歩道は警察の管轄であるが、協力して安全についてしっかり考えていかなければならない。道路の拡張はすぐには難しいが、祭りは地域の宝であるので、たくさんの人に見てほしいと思っている。
- 全ての生徒が楽しく過ごせることを目標にしている。皆は仲が良いが、からかいや悪ふざけがいじめにつながることもあるので、皆が明るく過ごせる学校にできるとよいと思う。
- 学校の中だけでなく今後の生活の中でも生じる問題だと思う。人の気持ちを考えてお互い思いやって生活できるようになることが大切であると思う。

#### 【学校で行っているSDGsの取組について】

- 給食の残食をなくすなどの食品ロスを減らす取組を行っている。
- 地域で住み続けることができるよう生徒が地域清掃などのボランティア活動を行っている。
- 地域の企業の課題をSDGsに絡めて生徒と一緒に解決策を考える取組をしている。

- 職場訪問とSDGsを関連付けて考えている。
- ペットボトルキャップを集める活動を行っている。
- ペットボトルキャップを使ったアートを行っている。
- SDGsの「安全な水とトイレを世界中に」、「つくる責任つかう責任」、「ジェンダー平等を実現しよう」などの目標に取り組んでいる。来年度から制服が変わる。
- SDGsについて学んだことを文化祭で発表している。
- 新聞紙でゴミ袋を作ってプラスチックの使用の削減をしている。
- ユネスコスクールとしてSDGs宣言を行い、全ての人に平和と公平を掲げ、全ての人が過ごしやすく安心できる学校を目指している。
- 我々の世代が考えないといけないことであったと反省することもある。中学生がSDGsについて学習し様々な視点から考え実践してくれることが、嬉しく素晴らしいと思う。平和な世の中で、これ続けていくことが一番大切な仕事だと思っている。これまでもたくさんのペットボトルキャップが皆さんから届いている。ペットボトルキャップがプラスチック製品の原料に代わり、その代金の一部がワクチンに変わる。循環し持続していくことが重要である。SDGsの取組は、学校や地域、家庭でもできることがある。市でも大島干潟の保全活動の支援を行うブルーカーボンの取組やコンビナート企業との連携による脱炭素の取組など、SDGsの視点で様々な事業を進めている。皆さんも将来周南市のリーダーになる時には、今と同じように平和で豊かで皆が幸せなまちが続くために何をしなければならないかを自分達で考え、発信してほしいと思う。安心して子どもが育ち老後の生活を送ることができるよう、このまちの未来につながるよう、市長として頑張りたいと思っている。

**【子ども達みんなが笑顔（幸せ）になるためにはどうしたらよいか、また大人になった時にどのようなまち（世の中）であってほしいか】**

- 差別をなくし皆が平等の世界を作ることが大切で、外国人や障害者への偏見をなくすことで皆が暮らしやすくなる。また、安全に楽しめる場所があり、各世代が暮らしやすく、自分らしく居られる環境があり、税負担が大きいまちであってほしい。
- 若い世代も地域行事に参加し、子どもの意見も尊重するまちであってほしい。
- 様々な世代が笑顔で生活できるまちにするために、各世代が必要とするものを取り入れていく。大人やお年寄りにもアンケートを行い意見を聞くと良いまちになる。
- 地域の方々の交流を深め、各世代が住みやすいまちにしてほしい。
- 子育てが応援され、子どもに優しい地域コミュニティがあり、子どもが体を動かして楽しめる施設があればよい。
- 様々な世代の人が交流するイベントがあればよい。イベントを通じて各世代が支え合っていけるような世の中であってほしい。
- 多くの人が幸せになるために、一人一人が人に対する発言や行動を意識する必要がある。
- いじめに対する意識を変えて、いじめを許さない社会を作ることが大切である。日本では、いじめられた人が不登校になることがあるが、外国ではいじめをした人が非難されたりする。日本でもそのような考え方が必要である。

- 世界中の人が幸せに暮らせる戦争がない世の中にしたい。
- 日本一犯罪の少ないまちにすると、移住者も増えまちに活気が出る。交番を増やして犯罪の相談ができるようにしてほしい。
- 駅の近くや人が暮らしている場所に商業施設や娯楽施設を造ると暮らしやすくなると思う。
- 子ども達全員が幸せになることは難しいと思うが、幸せだと感じることができる子どもが増えていくように、傍らで支えてくれる大人が一人でも多くいるとよい。自分が大人になった時に、昔と変わらず住みやすく素敵だと思えるまちになってほしい。
- 小さい子どもが遊べる公園などの施設を整え、子ども達が住みやすい環境を作り、大人になった時に明るく、楽しく、しようとしたことがすぐできるようなまちにしてほしい。
- 廃校になった学校や保育園の手入れをして、遊具などを使って子どもが外で遊べる環境を作してほしい。
- 皆の意見が尊重され、支え合い、どの世代の人も暮らしやすいまちや、心が通った人や地域のつながりを、中学生の皆さんが考えてくれていることがすごいなと感じた。今回のテーマは「中学生が描く未来の周南市」であるが、安心・安全に過ごすことができ、心が通うまちであってほしいと思っている。今後も、これからの社会で中心となる若い世代の皆さんの視点を尊重し参考にしながらまちづくりや市政運営を考えていきたい。

#### 【中学生から市長に質問してみたいこと】

- 周南市の今の目標を教えてください。
- 元気のあるまちにしないといけないと思っているが、人口減少が課題である。令和5年に2市2町が合併して20年を迎える。2050年は周南市の人口は102,000人になると言われている。合併当時の徳山市の人口よりも少なくなる予測がされている。人口減少を食い止めるために、今やっておくべき施策を行っている。周南市が元気であり続けるようにすることが一番の大きな仕事である。
- 市長が思い描く周南市の未来はどのようなものか。
- 人口減少を食い止めながら、周南市の産業や自然、港、施設、大学など数多くの宝を活かした素晴らしいまちを目指している。中学生の皆さんも大きな宝である。
- 政治家になることをいつごろから志していたか。
- 48歳の時に夫が亡くなり、皆に支えられながら政治家になった。その道を選んでよかったと思っている。県議会議員として16年間務め、その後4年前に市長になった。
- 理想の中学生像はどのようなものか。
- 自分が中学生の頃は今の皆さんのようなしっかりした考えは持ってなかった気がする。皆さんが理想の中学生だと思う。もし、中学生に戻れるのであれば学校の勉強、友達との付き合い、スポーツなど全てのことをもっとしっかりやり直したいと思う。
- 中学生が主体となって、地域の方々と関わるためにイベントを企画しているが、周南市でも中学生など若い世代が中心となって市民を対象にしたイベントを開催することはできるか。
- 地域を超えたイベントは開催できると思うのでぜひ提案してほしい。皆さんがまちづくりのエネルギーになると思う。

○市政運営と生徒会活動で通じるものはあるか。

●皆さんは生徒会組織を動かすリーダーとして、この学校を良くしよう、皆が幸せになるにはどうしたらよいか、いじめがなくなるにはどうしたらよいかなどを考えると思う。市長も同じで、市民の命と暮らしを守るにはどうすればよいかを常に考えている。皆さんは、自分のためだけでなく他の人のことや学校のことを思って生徒会の役員になったのだと思う。私も同じで、人のために、このまちをどのようにして幸せで豊かにしていこうか常に考えている。皆さんの意見を聞く中で、皆さんが素晴らしい考えを持っていると感じている。これからも頑張ってもらいたい。

○大勢の人の前で話す時、どのようなことを意識しているか。

●自分の考えを人前で話すということは難しいことだと思う。皆さんの意見を受け止め、それに対してどのように表現しようか考えている。私は話すことは得意ではないが、いつも人に分かりやすく話すことを心がけている。

○周南市の課題の中で中学生が取り組めるようなことを教えてほしい

●人口減少が課題と言ったが、減少を食い止めるには、皆が元気に長生きをして、人がこのまちから出ていくことを食い止め、移住を増やし、出生率を上げることが必要と考えられる。中学生は、赤ちゃんや小さい子どもと接する機会を持つなどして、まず子育ての大切さを理解してもらえると、嬉しく思う。

○生徒会の役員として活動する中で人をまとめる難しさを感じているので、どのようなことを大切にしたらよいか教えてほしい。

●周南市も多くの職員がいる。まとめることは大変であるが、皆が同じ目標に向かって努力しているところである。リーダーとして、皆に目標を示すことが大切だと思う。目標が見えないと、自分も迷うことがあるし人もついてくることができない。難しいことだが皆さんと一緒に頑張りたいと思っている。

○人の前に立つと緊張する。緊張をほぐす方法を教えてほしい。

●今でも皆さんを前にして緊張はある。マイクでしゃべる時よりも出番を待っている時の方が緊張する。この緊張があることも人を育てる大切なものであると思う。この緊張を自分は楽しもうと思っている。

○市長になって良かったなと思うことはあるか。市長として大切にしていることは何か。

●自分がこのまちのことを考え、予算をつけたり施策を行ったり、まちの在り方を決めたりすることができることである。自分の心でなく皆の心を大切にしている。また様々な縁も大切にしている。

○これからは担う私たち若者に、市長はどのようなことをしてほしいか。

●世界では、異常気象や戦争、コロナ禍、資源の枯渇など様々な問題が起き、諸外国との付き合いも大変な時期が来ている。これからの社会は皆さんが作っていくことになる。新聞やネットでニュースを読んだり、人と話をしたり、本を読んだりして様々な知識や情報を得て、大人になった時に自分の意見を堂々と自信をもって言えるようになってほしい。また、人に対して思いやりの心を持ったやさしい人間になってほしいと思っている。また、世界情勢や社会情勢が変わっていく中で変化を読み取ることも大事である。勉強だけでなく、自分で考え、意見を言い、変化に乗り遅れないように進んでいかなければいけない。大変であるが皆さんにはそういう人になってほしい。

- SDG s などに取り組んでいるが、周南市の海のゴミはSDG s に取り組む前と比べてどのようになっているか。
- 海のゴミは波が来るたびに押し寄せている。世界中の人がこの問題を認識し考えていけば減っていくと思う。一人ずつの意識の問題である。皆さんが考え行動することで減っていくと期待している。